

「がん治療と暮らしサポーター」研修

*** 第2期 集中講座 ***



今や日本人の2人に1人が罹患するがん。治療の進化に伴い、病院での治療やケアに収まることなく日常の暮らしを送りながら長く付き合う病気となりました。患者さんには、ときに、医療の枠を超えた暮らしをよくする知恵やセルフマネジメントが必要とされ、がん医療の専門家だけでは支えきれない現状があります。

「がん治療と暮らしサポーター」は、患者さん（主に初めて抗がん剤治療を受ける方）が暮らす上で抱える多面的な悩みや問題点を共有できる理解者であり、セルフケアを支える知識を提供し、社会資源の活用を促し、必要に応じて専門家につなぐ役割を担います。昨年の第1期集中講座では、延べ170名あまりの方が受講されました。

集中講座修了者には「がんと暮らしサポーター」の修了証を授与します。並行して、行政や医療機関、社会に向けて「がん治療と暮らしサポーター」の必要性を発信し、認知向上や活動の場づくりに向けた啓発活動を展開します。

*** ** **

- 対象**
- ・看護師、薬剤師、管理栄養士、MSWなど、医療従事者
 - ・在宅医療や産業保健に携わる方
 - ・病院の相談支援センタースタッフ、医療クラーク・事務スタッフなど、患者さんサポートの機会が多い方
 - ・患者さんサポートに関連する企業、職種の方

- 日程**
- 【Aカリキュラム】2015年5月30日（土）、5月31日（日）
 【Bカリキュラム】2015年8月1日（土）、8月2日（日）
- ※【Aカリキュラム】と【Bカリキュラム】は異なる内容です（詳しくは裏面のプログラム詳細をご覧ください）。
 どちらかのカリキュラムだけでも、両方でも、受講できます。

- 会場** 昭和大学江東豊洲病院 講堂（東京都江東区豊洲） ※都内の別の会場へ変更する可能性もあります。
 〈有楽町線「豊洲駅」より徒歩6分、ゆりかもめ線「ゆりかもめ豊洲駅」より徒歩6分〉

- 受講料**
- 【Aカリキュラム】受講料18000円（税込） *ハンドアウト代、1日目のお弁当代含む
 【Bカリキュラム】受講料18000円（税込） *ハンドアウト代、1日目のお弁当代含む

- 定員** 100名（先着順で定数に達した時点で締切）A・Bカリキュラム各々に、修了証を授与します。

担当理事・委員（理事長・副理事長以下、五十音順）

中村清吾／NPO法人キャンサーリボンズ理事長、昭和大学医学部乳腺外科教授

自分の健康は自分で守る。そんな患者さんを、「がん治療と暮らしサポーター」が支えます。

岡山慶子／NPO法人キャンサーリボンズ副理事長、朝日エルグループ会長

患者さんサポートの6年間のエビデンスをお伝えします。

荒木葉子／荒木労働衛生コンサルタント事務所所長・産業医

就労世代のがんサバイバーが増えています。「がん」と「仕事」の両立について一緒に学びましょう。

竹田 寛／(地独)桑名市総合医療センター理事長

がんとの暮らしのサポートは、がんという病気の正しい認識と患者さんへの深い理解から始まります。

東口高志／藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座教授

精神にも身体にも優しいがん医療の実践を目指して。

藤井信吾／(公財)田附興風会医学研究所北野病院院長

医療者は、がん治療を受ける人たちのサポーターであり、決して治療者ではない。

村田庄司／(公財)田附興風会医学研究所北野病院事務部長

知識習得に向け自ら行動し役割を担えるスタッフの育成が、よい医療、よい病院を実現します。

山田みつぎ／千葉県がんセンター通院化学療法室看護師長

病院・在宅に関わらず、がん患者さんがその人らしい生活を送るための支援について学ぶ講座です。

主催及び申込み先・受講料お振込みについて

主催 NPO法人キャンサーリボンズ（〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館5階）
 電話)03-3546-6101 e-mail) ribbonz@ellesnet.co.jp ホームページ) http://www.ribbonz.jp/

申込み 上記NPOのアドレス宛に、e-mail でお申込みください。
 件名を「サポーター集中講座」とし、本文に、①受講希望のカリキュラム【A】【B】（どちらか1つでも両方でも可）、②お名前、③職種や立場、④ご所属、⑤受講票が受信可能なメールアドレス（PDFにて送付します）、⑥日中つながる電話番号をご記載ください。
 追って、事務局より受講料のお振込み先および受講票についてご連絡させていただきます。

「がん治療と暮らしサポーター」研修－第2期 集中講座－

※講師およびご講演内容は予告なく変更となる場合がございます。

《Aカリキュラム》			
2015年5月30日(土)			
時間	分	テーマ	講師
10:30~11:00	30	「暮らし」を支える ということ	江口 研二 帝京大学医学部難治疾患支援学講座 特任教授
11:00~12:00	60	患者の立場になって 理解するー痛みを例にー	安井 久晃 (独)国立病院機構京都医療センター腫瘍内科診療科長
12:00~13:00	60	昼食休憩	
13:00~14:00	60	情報を、適切に探す	小林 隆志 鳥取県立図書館支援協力課 課長
14:00~14:05	5	休憩	
14:05~15:05	60	家族との関係を再構築する	田中 登美 兵庫医療大学 看護学部准教授、がん看護専門看護師
15:05~15:20	15	休憩	
15:20~17:10	110	リンパ浮腫ケアで、 少しでも快適に ★実技あり	田中 登美 兵庫医療大学 看護学部准教授、がん看護専門看護師 佐藤佳代子 後藤学園附属リンパ浮腫研究所 所長 NPO 法人日本医療リンパドレナージ協会 理事
2015年5月31日(日)			
9:00~9:30	30	セルフマネジメント を支える	山田みつぎ 千葉県がんセンター 通院化学療法室 看護師長、 がん看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師
9:30~10:30	60	よりよく食べる	三輪 教子 西脇市立西脇病院 乳腺外科部長
10:30~10:45	15	休憩	
10:45~11:45	60	QOLを支える口腔ケア	山田みつぎ 千葉県がんセンター 通院化学療法室 看護師長、 がん看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師
11:45~11:50	5	休憩	
11:50~12:50	60	がん治療と働くこと	荒木 葉子 荒木労働衛生コンサルタント事務所 所長、産業医
《Bカリキュラム》			
2015年8月1日(土)			
時間	分	テーマ	講師
10:30~11:00	30	「自分らしく」を支える 「社会」で支える	中村 清吾 NPO 法人キャンサーリボンス理事長 昭和大学医学部乳腺外科教授、昭和大学病院プレストセンター長
11:00~12:00	60	一人ひとりの妊娠・出産	鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授
12:00~13:00	60	昼食休憩	
13:00~14:00	60	QOL(暮らしの質)を 支えるスキンケア	山崎 直也 (独)国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科 科長
14:00~14:05	5	休憩	
14:05~15:05	60	感染から自分を守る	辻村 秀樹 千葉県がんセンター 外来化学療法科 部長
15:05~15:20	15	休憩	
15:20~16:20	60	社会資源を活用する	村田 庄司 (公財)田附興風会医学研究所北野病院 事務部長
16:20~16:25	5	休憩	
16:25~17:35	70	こころをみる こころを支える -丸田俊彦の遺した言葉-	岡山 慶子 NPO 法人キャンサーリボンス副理事長
2015年8月2日(日)			
9:00~10:00	60	暮らしと運動習慣	小松 泰喜 東京工科大学 医療保健学部 理学療法学科 教授
10:00~10:05	5	休憩	
10:05~12:00	115	元気を支える容顔ケア ★実技あり(途中休憩有り)	有働みどり (財)大阪府警察協会 大阪警察病院 看護師長、 がん化学療法看護認定看護師 山崎多賀子 美容ジャーナリスト、乳がん体験者
12:00~12:05	5	休憩	
12:05~12:35	30	患者さんを支える者として	東口 高志 藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座 教授